

# 上天草市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第4期特定健康診査等実施計画の概要

上天草市健康づくり推進課

計画期間  
令和6年度～令和11年度

## 1 計画の位置付けと基本的な考え方

第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）は、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）において、国民健康保険加入者の健康・医療情報をもとに、効果的かつ効率的な保健事業の実施を行い、被保険者の健康増進を図るための計画です。

また、第4期特定健康診査等実施計画は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、国民健康保険加入者に対する特定健康診査・特定保健指導の具体的な実施方法・目標を定める計画です。なお、過去の取組の成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と一体的に策定します。（P1～2）

## 2 本市国民健康保険の現状

- ① 中長期目標疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患及び慢性腎不全の医療費においては、総医療費に占める割合が9.8%となっており、同規模、県及び国の割合を大きく上回っています。特に脳血管疾患については、平成30年度よりも1.9%増加しています。（P13～16）
- ② 短期目標疾患である高血圧、糖尿病及び脂質異常症における治療者の割合はいずれも増加しており、合併症の疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患及び人工透析の割合は、40～64歳で増加しており、若い世代において、重症化している実態がみられます。（P17～18）
- ③ 特定健診結果において、Ⅱ度高血圧（160～179/100～109）及び糖尿病（HbA1c7.0以上者）の割合は増加傾向にあり、特にⅡ度高血圧未治療者や治療中断者の割合が高い傾向にあります。（P18）
- ④ メタボリックシンドローム該当者の割合が増加傾向にあり、予備軍の割合も合わせると、4.2%増加しています。（P19）
- ⑤ 特定健診受診率は、増加傾向にあるものの、第3期特定健康診査等実施計画の目標は達成できていない状況です。（P20）



## 3 第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の評価（P23）

(1) 成果目標>>>改善傾向だが、目標は達成していない。

目標		H28	R2	R5
標準化医療費地域差指数	目標	-	1.163	1.163
	実績	1.163 (H27)	1.254	1.217 (R3)

※地域差指数…医療費の地域差を表す指標として一人当たり医療費について、人口の年齢構成の相違分を補正し、全国平均を1として指数化したもの。

(2) 中長期目標>>>改善傾向だが、目標は達成していない。

目標		H28	R2	R5
脳血管疾患の患者数 25%減少	目標	-	388	306
	実績	408	331	321
虚血性心疾患の患者数 25%減少	目標	-	405	320
	実績	426	356	324
糖尿病性腎症の患者数 25%減少	目標	-	102	80
	実績	107	102	125

(3) 短期目標>>>改善傾向だが、目標は達成していない。

目標		H28	R2	R5
健診受診者の高血圧の割合減少 (140/90以上)	目標	-	27.6	25.0
	実績	30.2	37.3	44.0
健診受診者の脂質異常症の割合減少 (LDL160以上)	目標	-	男6.2 女11.5	男6.2 女8.8
	実績	男6.2 女13.7	男11.2 女15.7	男8.1 女11.3
健診受診者の糖尿病有病者の割合伸びの抑制 (HbA1c6.5%以上)	目標	-	7.3	7.5
	実績	7.1	9.9	11.3
健診受診者の糖尿病治療継続者の割合増加	目標	-	50.0	55.0
	実績	44.6	51.7	53.7
健診受診者の血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合減少 (HbA1c8.4%以上)	目標	-	0.6	0.5
	実績	0.7	0.9	0.7
メタボ該当者・予備軍の減少	目標	-	26.0	25.0
	実績	26.7	35.3	32.1

単位：%

単位：人

## 4 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画の目標 (P34)

### (1) 中長期目標

脳血管疾患・虚血性心疾患及び糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制します。

目標		数値目標
新規脳梗塞患者数	目標 (R11)	1.1%
	初期値 (R6)	1.19%
新規脳出血患者数	目標 (R11)	0.2%
	初期値 (R6)	0.27%
新規虚血性心疾患患者数	目標 (R11)	1.5%
	初期値 (R6)	1.61%
新規人工透析導入患者数	目標 (R11)	1人
	初期値 (R6)	2人

### (2) 短期目標

脳血管疾患、虚血性心疾患及び糖尿病性腎症発症予防のために、高血圧、脂質異常症、糖尿病及びメタボリックシンドローム等の対象者を減らします。

目標	数値目標
★特定健診受診率	50.0%
	初期値 (R6) 34.0%
40代、50代の健診受診率	30.0%
	初期値 (R6) 27.2%
★特定保健指導実施率	63.0%
	初期値 (R6) 58.5%
内臓脂肪症候群該当者及び予備軍の割合	31.0%
	初期値 (R6) 33.9%
血圧Ⅱ度以上者の割合 (160/100以上)	9.0%
	初期値 (R6) 9.7%
★健診受診者のHbA1c8.0% (NGSP値) 以上者の割合	1.0%
	初期値 (R6) 1.1%
★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	16.7%
	初期値 (R6) 15.7%

## 5 本市における今後の取組

### ① 保健事業の方向性 (P42)

糖尿病性腎症、虚血性心疾患、脳血管疾患における共通のリスクとなる糖尿病、高血圧、脂質異常症及びメタボリックシンドローム等の減少を目指すため、特定健診結果をもとに、発症及び重症化予防の取組について、重症化予防とポピュレーションアプローチを組み合わせて実施します。

### ② 重症化予防の取組 (P42～63)

生活習慣病重症化による合併症の発症及び進展抑制を目指し、脳血管疾患、糖尿病性腎症、メタボリックシンドローム及び虚血性心疾患予防に重点を置き、それぞれの疾患に合わせた取組を行います。大まかな流れは以下のとおりです。

- ・医療受診が必要な人には、適正な受診及び治療を行うよう、受診勧奨を実施する。
- ・治療中の人には、医療機関と連携し、臓器障害を防ぐための保健指導及び栄養指導を実施する。

### ③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (P64)

高齢者の特性を前提に、後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図っていくために、生活習慣病の重症化を予防する取組及び生活機能の低下を防止する取組の双方を一体的に実施します。なお、実施に当たっては、熊本県後期高齢者医療広域連合から受託している「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」を継続していきます。

### ④ 発症予防 (P65)

生活習慣病の重症化予防が介護予防や健康寿命の延伸と深く関わることから、その対策が重要なことを踏まえ、生活習慣の確立が小児期に端を発することにも視点を持ち、小児における生活習慣病対策を実施する必要があります。データヘルス計画の対象者は、被保険者全員であることから、ライフサイクルの視点で、妊娠期からの保健事業についても生活習慣病予防の視点を加えます。また、若者を対象とした健診を実施し、被保険者が自身の身体の状態を毎年確認することが習慣化できるような取組を推進していきます。

### ⑤ ポピュレーションアプローチ (P66)

生活習慣病の重症化により、自分自身の生活及び将来設計にも影響を及ぼしてしまうことや、高額な医療費及び介護費用等がかかることで、社会全体に与える影響等について広く住民へ周知していくことで、住民が自らの健康管理の大切さ及び予防可能な生活習慣病の発症予防に関心を向けるように促します。

